防災対策として利用可能な水の浄化

アフリカなどでも活躍している浄水装置や浄化剤などをご紹介したいと思います。金額的にも手が届きやすいものが多いため、会社で購入検討されても良いかもしれません。

1つめは、ヤマハ発動機が手がける小型浄水装置「ヤマハクリーンウォーターシステム」。緩速ろ過という方法を用いた幅5m×奥行8m×高さ4mほどのコンパクトな浄水装置。自然界における水浄化の仕組みを応用し、丸一日かけて川や沼の表流水を生活水に浄化するそうです。

次は、日本ポリグル株式会社の移動式簡易浄水装置「エコポリグル君」。元々ポリグルでは、納豆のネバネバ成分「ポリグルタミン酸」を原料に水質浄化剤ポリグルレスキュー」を開発してきたことから、装置の開発にも成功したようです。

同社の水質浄化剤「ポリグルレスキュー」の場合は、容量に応じて130円（税込）からと、一般家庭でも購入しやすく、しかも、そのまま飲用できるのが嬉しいですね。

殺菌剤「AQUA QU（アクアク）」との併用で飲料水への水質浄化ができるのが株式会社クラスターの「ウォーターリサイクリーン」。お試しセットは1500円（税込）。湿気に弱い面や二剤使用という難点があるものの気になる製品です。

コカ・コーラ社が販売して話題になっているものとして、やや大型ですが、セグウェイの開発者で知られる発明家ディーン・ケーメン氏による『夢』の浄水装置「スリングショット」。こちらは海水や廃水を含むどんな水も真水に浄化でき、しかもコストが1ガロン（約3.8L）あたり、わずか1セントという画期的な製品。コカ・コーラ社では、水が汚い地域でも、この浄水器で浄化された水を使ってコカ・コーラが販売できるようになるという長期のビジネススキームをもくろんでいるそうです。

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び
大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

スタッフ紹介

日頃は営業活動やお電話で応対させていただいておりますスタッフの日常をお伝えいたします。

岡山工場の技術部木梨です。入社してから早いもので22年になります。私の休日は大自然に囲まれて山林田畑の農作業の毎日ですが、時間が空いたらホールに行ったり趣味の模型を楽しんでます。最近では木材加工をしたり日曜大工にはまっております。

業務は製品の開発や営業部の支援を中心とした仕事をしています。製品開発では新製品テーマはもちろんのこと、原料を見直したり、その生産方法を検討することで生産効率アップを図り日々のちょっとした工夫や営業部・製造現場とコミュニケーションをとることでアイデアを出し合い、そうする事が現状を変革することとなることを実感する毎日です。

営業支援として営業部員と一緒に日頃お世話になっておりますお客様や現場を訪問させていただき、ご購入いただいた製品に異常ないか実態に沿っているか、お客様が望んでおられる作業性などを見極め、その方向性を再確認するよう勤めております。

現場訪問の際は感電や落下、自身の不安全行動に注意しながら仕上がり具合や下地の状況を確認し、お客様と直接コミュニケーションをおこない、どのようなポイントが効果的であったかを振り返り、その根拠を明確にしておくことは弊社の技術的な内容を向上させるチャンスになりますから、そういう機会を大切にしています。

私は現場に行くと内心、早く下地の汚れやレイタンスを取り除かなければとそわそわしてしまいケレンしてもらうと安心します。最近では普段見かける建築物の劣化箇所をみる度にこうやって補修したら綺麗になるよなぁって思ってしまいます。生活に支障は無いですが病気かもしれません。

近年は気候変動のせいか極端に暑かったり雨が多かったりしますので、防水に関するお客様からのお問い合わせも多くなっており毎度お電話でお時間を頂いております。

これからもお客様の抱えている問題や課題を解決してより良い製品を提供できますようがんばります。少しでも満足して頂くようご支援いたします。宜しくお願い致します。

技術部 木梨 泰光

DAINICHI CHEMICAL CO.,LTD.
●本社
〒571-0030　大阪府門真市末広町 8-13
TEL：06-6909-6755(代)　/　FAX：06-6909-6702
●東京支店
〒105-0013　東京都港区浜松町1-2-5
TEL：03-3436-3801(代)　/　FAX：03-3436-3803

URL：http://www.dainichikasei.co.jp

Vol.29

映画で学ぶ環境問題

スライヴ（THRIVE）

監督：フォスター・ギャンブル
上映時間：2時間12分
公開：2011年

前作では、「フリーエネルギー」という無限のクリーンエネルギーを発明したニコラ・テスラにふれましたが、今回も「フリーエネルギー」関連映画です。ただ本作は、ハリウッド発の娯楽作品ではなく、告発形式のドキュメンタリーで、製作者はフォスター・ギャンブルという個人で、世界最大の生活用品メーカーとして有名なプロクター&ギャンブル社（P&G）の御曹司です。

本来、大富豪として生まれた彼は、会社を継ぐのではなく、貧富の差がどうして生まれたのかを知るためもあって、科学者としての道を選んだうえ「トーラス」という構造体や理論の研究を深めます。すると、宇宙の基本的構造や生命は、すべてトーラスに基づく構造を持っていること、そして、石油や原子力に代わる「フリーエネルギー」にもトーラスが関わっていることを突きとめます。

しかし、電力や石油などエネルギー関連企業が、自分達の利権を手放すことを嫌い、フリーエネルギー開発者を弾圧していることにも気づきます。例えば、ニコラ・テスラはシステム完成前に、スポンサーであった銀行家J・P・モルガンによって抹殺されたのです。

なぜなら、モルガンは当時の電線に使われる「銅」を独占していたからです。電線が不要なテスラのシステムは、モルガンにとって脅威だったのです。そしてモルガンや彼の近親者であるロスチャイルド一族こそが、当時ならず現代でも、エネルギーで大きな利権を持っているのです。

こういった話は趣味の悪い都市伝説のようですが、興味深いのはP&Gも利権集団の一員であり、現代においては、人類監視のチップ埋め込み業務を担っているそうです。フォスター・ギャンブルは、まさに祖父創業の企業を告発するような暴露作品として、この映画を作ったのです。

そして彼は、エネルギー問題を追う内に「お金の流れ」に気づき、世界経済が一部の人間に牛耳られていることを知ります。たとえば、世界経済をコントロールしているFRBは、アメリカ合衆国の中央銀行にあたる機関ですが、実は、公的機関ではなく民間の金融機関です。

日本でいえば日銀にあたるFRBが、私企業であることを多くの日本人は知りません。

そのFRBやヨーロッパの中央銀行こそが、ロスチャイルド一族とモルガンらによって産み出されたものであり、しかも、貨幣発行の権限を持つFRBは、アメリカ大統領だけでなく世界経済をも手なずけられるのです。

世界での紛争の大半が、エネルギー問題から起こり、エネルギーの格差が貧富の差を生んでいます。そのエネルギーが無料で、しかもクリーン・かつ簡単に手に入るとなれば、戦争や飢えに苦しむ必要はありません。ところがテスラだけでなく、フリーエネルギーを開発した科学者のほとんどが抹殺もしくは弾圧されている事実も、この映画では告発しています。

さらに恐ろしい事に、コトはエネルギー問題だけでなく、食糧や医療、教育問題にも絡んでいるとのこと。具体的にはGMOと呼ばれる「遺伝子組み換え食品」。これは、世界経済を牛耳るロックフェラー財団がもくろむ人口削減化計画によるものだそうです。また「ワクチン」といえば、善意の証明のように感じる人も多いかもしれませんが、実はワクチン摂取によって不妊を引き起こすようになっているため、昨今は年々、不妊症が増えています。他にも、様々な問題が邪悪な集団によって作られているのです。約2時間の映画ですが、あっという間と感じるぐらい、様々な問題が出て来ます。

こうして文字にしてすると、一見「トンデモ映画」ですが、本作では問題を1つずつ細かく論証していますし、彼なりの解決策を提案しています。そして、何よりもとても興味深く面白いのです。

もちろん賛否両論の映画ですし、内容が内容だけに、多くの共感者や反論者がネット上に本作品をアップしていますので、皆様も簡単にネット上で閲覧できるかもしれません。但し、ご覧の際は正規の方法でご覧くださいますよう、お願い致します。